

## 6. 山部まちおこし事業

☞ ドライブイン（活動拠点）を活用した地域の活性化  
【NPO法人山部まちおこしネットワーク（富良野市）】

### 地域の状況

#### ■ 地域の概要

富良野市山部地域は、国道38号線沿道に商店が集積し市街地を形成、その周辺を農地が、さらにその周りを山岳が取り囲んでいる農業地帯です。

#### ■ これまでの問題点

地元商店は高齢化や廃業が相次ぎ、農業集落では、離農により農家戸数が減少しており、地域の将来に対する危機感が高まっていました。

#### ■ これまでの取組

地域の将来を危惧した有志（まちおこし委員会）により、様々な地域おこしイベントを行ってきました。イベントにやりがいは感じていたものの、地域の衰退を食い止めるまでには至っていない・・・そんな悩みを感じつつ活動していました。



山部ドライブイン

### 事業内容

#### ■ 本事業での取組

本事業では、山部地域を活性化し、昔のように住民同士のコミュニケーションが活発な賑わいのあるまちづくりをめざしました。

平成23年に廃業した「山部ドライブイン」を改修、活動拠点として整備し、次の事業を実施しました。

- 地場産野菜、農作物の販売
  - ・ 特産のメロンや長ねぎ、人参など
- レストランの運営
  - ・ 地場産野菜を使った料理を提供
- 高齢者サロン事業の実施
  - ・ 「地域のお母さん」がワンデイシェフとして料理を提供
- 事業計画のブラッシュアップと人材育成
- 広告宣伝（農産物販売、レストラン関連）

#### ■ 取組の中で生じた課題

地場産野菜、農作物の販売については、地場産野菜等の品揃え、越冬野菜の貯蔵方法、販路確保が、レストランの運営では、資金的に日曜日・夜間の営業ができないこと、新規顧客の開拓が課題でした。高齢者サロン事業では、実施してみると、お年寄りに好まれるようなメニューの開発が必要なくなりました。事業全体では、収益確保へ向け、経費の見直しや地域住民へのPRが、事業の継続拡大へ向け、人材の育成が必要でした。

#### ■ 取組に関する課題への対応

地元農家の協力による安定的な地場産野菜の供給体制を確保したほか、地域イベントにおける観光客へのPRや看板の大きさ・デザインのリニューアルを行い、集客に努めるとともに、高齢者向けおもてなしメニューの検討やバリアフリートイレを設置するなど、行政、地域の福祉団体等との連携協議のもと取組を進めています。

#### ■ 地域の関係者との連携体制（メンバー）

もともと、山部地域は、販売事業を行う農家が商工会に加入するなど、「オール山部」で農業者と商工業者が連携する土壌がありました。今回の事業実施に際しても、地域の様々な境遇・職業の住民が集まりNPO法人を設立するなど、地域一丸となり事業に取り組んできました。

#### ■ 連携体制を構築する上で生じた課題

山部地域は地域活動がさかんで、春から秋まで、いろいろなイベントが切れ間なく行われます。女性や若者など、地域の活性化に取り組む上で有望な人材が、NPO法人の活動にもっと参画してほしいという思いもありますが、それぞれが抱えるイベント運営で忙しく、本事業の実施体制（組織）を拡げていくことがなかなか難しい状況です。

#### ■ 連携体制に関する課題への対応

富良野という土地に魅力を感じ、移住してきた若者が、本事業で取り組んでいた事業内容に興味を持ち、NPOの事務局を担当するようになりました。また、地元で活動している「地域おこし協力隊員」の協力で、地場の材料でつくったパンをドライブインで販売するなど、新たな人材を活用した事業に取り組んでおり、もっとこうした人材が集まってくるような地域にしたいです。

### 今後の取組

レストランについては、これまで観光客の利用はあまりなく、地元の方の利用が多いのが現状でしたが、道東自動車道が全線開通し、新千歳空港から富良野までのアクセスが良くなったため、観光客のドライブイン利用が増えています。ドライブインに新たな看板を設置し、観光客へのPR方法など、利用者増に向けた検討を始めています。

24年にレストランのトイレ改修を行った結果、これまではトラック運転手など男性客中心の利用でしたが、女性客やファミリー層へ客層が拡大しました。今後は女性客やファミリー層向けの地元産食材を使ったメニュー開発など新たな取組をしていく予定です。

越冬野菜については、コンテナでの保存に加え、近隣農家敷地に氷室を設け、より多く

の野菜を保存できる仕組みを検討中です。さらに、富良野産野菜を使った料理等を提供する「ふらのグリーンフラッグ」加盟飲食店と連携し、地産地消を推進するとともに、安心して安全な地元産食材をより多くの方に購入いただけるよう検討しています。

ドライブインの利用促進に向けては、地域のお年寄りを集めたそば打ちの実演や演奏付きの食事会などを企画しました。冬場には送迎もNPOが行い、高齢者と楽しく情報交換を行ったこのような取組は地域の方から大変好評をいただきました。今後も更に地域のお年寄りに親しみを持たれる店づくりを目指します。

人口の減少や高齢化が進行するなか、山部まちおこしネットワークが担うべき事業はこれからどんどん増えていくでしょう。

そのため、今手がけている事業の担い手を育てて、継承し、組織として新しい事業にチャレンジする余力を常に保ち続けることが大切だと考えています。



地域のお年寄りを招待した食事会

NPO法人 山部まちおこしネットワーク  
 【構 成 員】 地元商店主、地元農家、地域住民  
 【所 在 地】 〒079-1565 富良野市山部南町2番10号  
 【代表者名】 理事長 山崎 伸一  
 【連 絡 先】 TEL 0167-42-3900(FAX兼用)  
 【E-mail】 yamabematinet@ivy.ocn.ne.jp